

船舶事故等調査報告書

平成25年7月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013仙第6号
事故等種類	衝突
発生日時	平成24年10月13日 05時28分ごろ
発生場所	岩手県釜石市釜石港内 釜石市所在の平田港外防波堤灯台から真方位047°1,900m 付近 (概位 北緯39°15.6′ 東経141°54.7′)
事故等調査の経過	平成25年2月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 泰平丸、499トン 134782、大央商運株式会社 B 土運船 No.1515、1,536トン なし、家島建設株式会社
乗組員等に関する情報	船長A、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	A 左舷船首部ハンドレール及び右舷船首外板に擦過痕及び曲損 B 右舷船尾部外板及び防舷物に擦過痕
事故等の経過	A船は、釜石港に入航中、船長Aが、同港内に錨泊していたB船を認めたと、灯火が確認できない状態で航行を続けていたところ、平成24年10月13日05時28分ごろA船の船首部とB船の右舷船尾部とが衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風速 約1.2m/s、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の中央期
その他の事項	B船は、災害復旧によるケーソン撤去工事のために釜石港内に無人で錨泊中であり、船首側に1個、船尾側に2個の橙色の標識灯（4秒に1閃光、到達距離は約2km）を掲げていた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A あり、B なし A なし、B なし A なし、B なし A船は、釜石港に入航中、船長Aが同港内に無人で錨泊していたB船の灯火が確認できない状態で航行を続けたことから、錨泊中のB船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、釜石港内において、A船が入航中、B船が無人で錨泊中、船長AがB船の灯火を確認できない状態で航行を続けたた

め、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。